

LAPSSとかんたん算定シートの比較

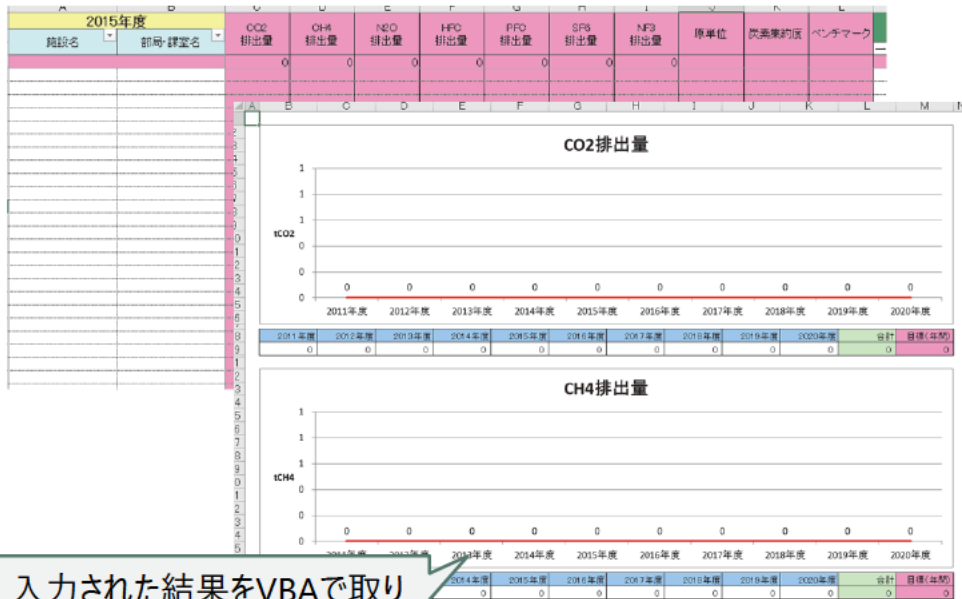
2021年 11月
株式会社 野村総合研究所

かんたん算定シート

地方公共団体実行計画（事務事業編）における
温室効果ガス総排出量を算定するための支援ツール

- 専用Excelツール(VBA)を使用しており、活動量を入力したExcelシートを収集すると、自動で集計が行われる。

Excel入力・集計画面イメージ



入力された結果をVBAで取り込み、グラフを生成

LAPSS (ラップス)

地方公共団体実行計画（事務事業編）の策定及び温室効果ガス総排出量の算定・管理を円滑に推進するための支援システム

- ブラウザ上で使えるシステムを構築しており、各施設が各自でシステムに直接入力した活動量をもとに、自動かつリアルタイムで集計が行われる。

システム画面イメージ



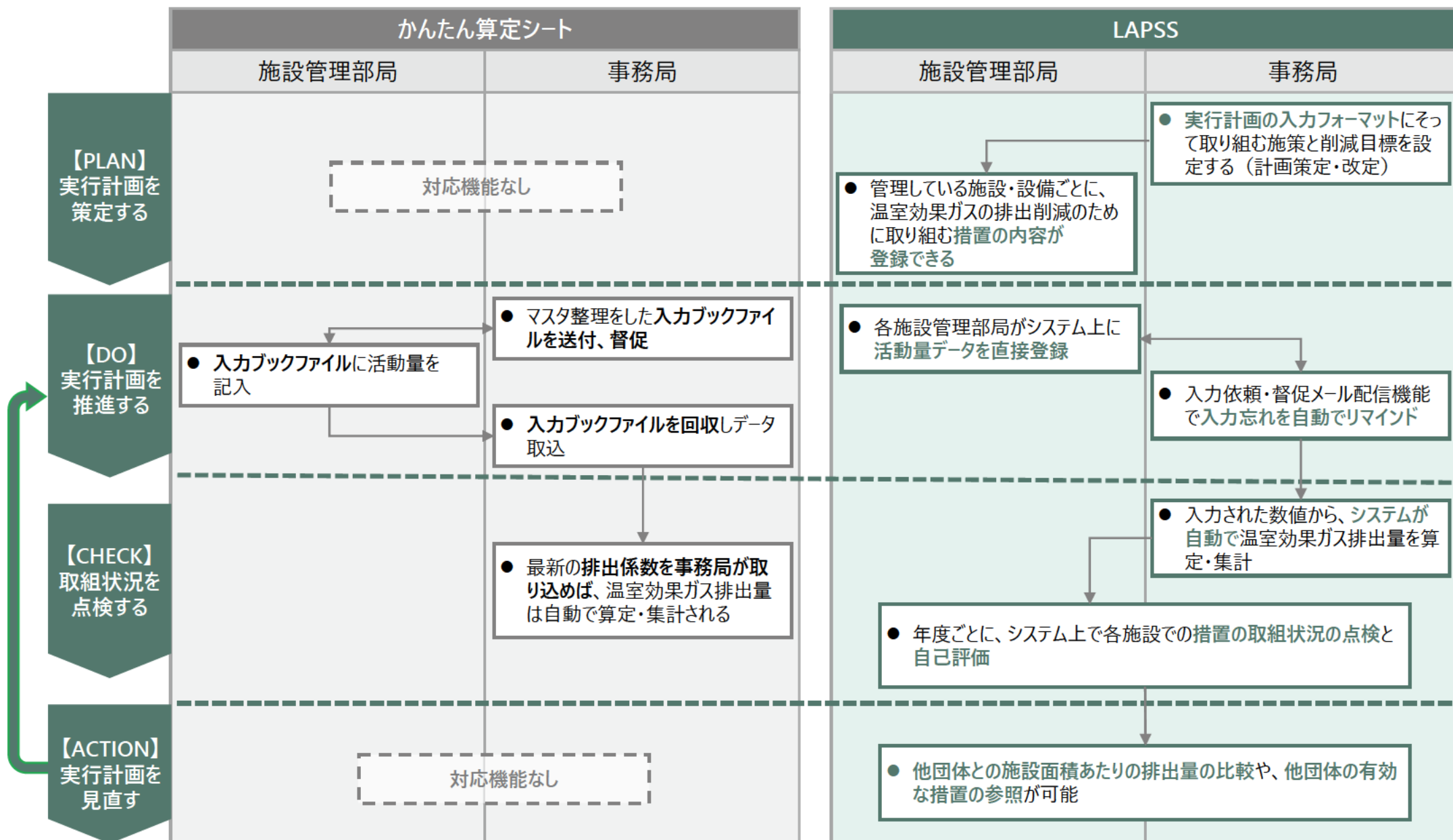
施設ごとの入力状況も確認可能

入力された結果を即時反映

実行計画の策定・運用に係る業務とLAPSS機能

- 事務局：各地方公共団体において実行計画を所管する部局
- 施設管理部局：主に活動量等データ入力を担当する部局

かんたん算定シート・LAPSSを利用した場合の実行計画の策定・運用に係る業務フローの比較





LAPSSへの移行メリット

	かんたん算定シート	LAPSS
施設管理部局からのデータ収集、データチェックの効率化	事務局から施設管理部局へExcelシートを展開し、入力の督促、回収までをこなした上で、入力のミスがないかを確認、修正依頼を実施	施設管理部局が直接システム上に活動量を入力する。入力時に自動でエラーチェックが行われるので、その場で修正が可能。また自動でメールが送付されるので、督促の手間もない
他団体の取組状況把握	対応機能はなし。自力で様々なデータにあたる	LAPSSを利用している他団体の取組状況や有効な措置の閲覧が可能
実行計画および措置の管理	対応機能はないので、別途管理する必要がある	実行計画策定・改定内容および実施措置も管理可能
排出係数の更新の省力化	電気事業者ごとの排出係数について、環境省HPから最新の排出係数を取り込む必要がある	電気事業者ごとの排出係数についてはシステムが排出係数を自動更新するので、手動での更新は不要
システムの操作習得の負担軽減	基本的にはマニュアルを見て各自が習得する必要がある	マニュアルに加えて専任の電話サポートセンターを設置している。また年に数回操作勉強会を開催しており、操作デモ等も参照可能
関連制度報告への活用	省エネ法（工場等に係る措置）定期報告への活用が可能	温対法、省エネ法に加え、地球温暖化対策計画書制度に従った報告にも活用が可能

💡 LAPSSの利用メリット（利用団体の声より）

業務時間削減効果

- Excelファイルを使用したデータ収集において各団体事務局の手間となっている「施設管理部局からのデータ収集」「データの修正」業務についてシステム上で効率的に実施可能
- 温対法等の関連法制度の温室効果ガス算出に係る作業負担が軽減

Excelを活用したデータ収集・集計作業



施設管理部局へのExcel配布・回収
およびエラーチェック等の集計業務に

1週間～1ヶ月程度

の時間を要している

LAPSSを利用する場合



活動量データの登録・集計、入力値
のエラーチェックは

**事務局の手を介さずにLAPSS
上で対応可能**

費用削減効果

- LAPSSは環境省提供のクラウドシステムのため**費用の負担無し**で利用可能

民間事業者開発の 独自システムを利用する場合



システム利用料金

約100,000円/年*

LAPSSを利用する場合



システム利用料金

0円

*LAPSS活用団体へのヒアリング結果より

ぜひLAPSSへの移行をご検討ください！